

2015年度 東京工業大学
メディアと民主主義
政治とメディアの現代史①

2015年10月30日(金)

担当者: 西田亮介

ryosukenishida@gmail.com

講義計画

- 1. オリエンテーション
- 2～5. 政治とメディアの現代史
- 6～9. メディア論の視座と考え方
- 10. ゲストレクチャー(仮)
- 11～15. PR、パブリック・アフェアーズ、マーケティングの発展と政治、民主主義

※ 履修者数に応じて、構成、進行を変えることがあります。
※ 履修者の文献要約とディスカッションを中心に進行します。

今週のTips

- メールの書き方
 - 教員にメールを出したことがありますか？

今週の「政治」ニュース

- 今週の気になったニュースを思い出してください。
 - 次回以後は、タイトルと媒体をメモしてきてください。
- どのメディアで見ましたか。
- なぜ、気になったのですか。問題意識とともに紹介してください。

今週のグループワーク

- 4人1組を作成。
- それぞれが簡潔に自己紹介(氏名、学年、所属、関心)、Questions ①の紹介(×4)。
- 各グループで、メディア視聴のなかで、「政治」を感じた機会の特徴と傾向(共通点と差異)を考察し、示唆を取りまとめ、簡潔に紹介する。

グループワーク②: 先週のQuiz

- これまで、メディア視聴を通じて「政治」を意識したことがありますか。
- それはどのような機会でしたか。
- そして、そのとき、なぜ「政治」を意識したと思ったのですか。

日本の教育課程では政治をどのように教えようとしているか

- 「市民性教育」「シチズンシップ教育」(citizenship education)
- 投票年齢の18歳への引き下げにあたって、文科省と総務省が2015年中に、全高校生向けに選挙教育用の副教材を配布
- 文科省・総務省「私たちが拓く日本の未来」
(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shukensha/1362349.htm)

選挙年齢の引き下げと市民性教育

- 2022年度(!)から、高校に「公共」「歴史総合」(仮称)が必修科目として設置予定。
 - 公共:政治参加、社会保障、契約、家族制度、雇用、消費行動等を学習予定
 - 歴史総合:日本史と世界史の近現代部分を中心に。

※

投票年齢の引き下げは2016年参院選から実施される。両者の関係をどのように捉えるか

資料①: 文科省「高等学校等における政治的教養の教育と高等学校等の生徒による政治的活動等について(通知)」

- 文科省「高等学校等における政治的教養の教育と高等学校等の生徒による政治的活動等について(通知)」2015年10月27日
 - 第1 高等学校等における政治的教養の教育
 - 第2 政治的教養の教育に関する指導上の留意事項
 - 第3 高等学校等の生徒の政治的活動等
 - 第4 インターネットを利用した政治的活動等
 - 第5 家庭や地域の関係団体等との連携・協力
- 全文→ http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/1363082.htm

今週のQuiz

- あなたの考える「市民性教育」とはどのようなものか、その理由とともに、500字程度で感想を記し、次回までにOXWiにアップし、持参せよ。

※追記

授業内での指示の通り、今週はQuizなしです。「今週の政治ニュース」と、先週の課題のみ、再度持参して下さい。